HLee4_Job_1_of_1 ×

Printed by HPS Server for

EAST

Printer: cp4_3c03_gbfhptr

Date: 04/14/03

Time: 15:22:11

Document Listing

Document	Selected Pages	Page Range	Copies	
JP402033935A	4	1 - 4	1	
Total (1)	4	-	-	

② 公開特許公報(A) 平2-33935

Sint. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)2月5日

21/336 H 01 L G 02 F 1/136 H OT L 27/12 29/784

7370-2H 500 7514-5F Α

> 311 Y H 01 L 29/78 8624-5F 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

薄膜トランジスタの製造方法 60発明の名称

> 頤 昭63-183803 ②特

顧 昭63(1988)7月23日 22出

矢 崎 @発 明 者

正俊

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエブソン株式

会社内

セイコーエブソン株式 勿出 願 人

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

会社

弁理士 上柳 雅誉 外1名 個代 理 人

1. 発明の名称

薄膜トランジスタの製造方法

2. 特許請求の範囲

絶緑性基体上におけるスタガード型薄膜トラン ジスタの製造方法において、前記絶縁性基体上に シリコン層を積層する工程と、前記シリコン層を 島状に残す工程と、前記シリコン層上に、非晶質 シリコン層と絶縁膜を連続成膜する工程と、前記 絶縁膜表面に凹部を形成する工程と、前記シリコ ン層と前記非晶質シリコン層へレーザ照射を行な い前記非晶質シリコン層を多結晶シリコン層に変 換する工程と、前記絶縁膜上に低抵抗シリコン層 を積層する工程と前記絶縁膜の厚膜部分を除去す る工程と、前記シリコン層と前記多結晶シリコン 層と前記低抵抗シリコン層に不純物添加用ガス雰 囲気中でレーザ照射を行なう工程とを含むことを 特徴とする薄膜トランジスタの製造方法。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、液晶表示用デバイスのアクティブ・ マトリクスに用いられる薄膜トランジスタの製造 方法に関する。

[従来の技術]

従来のスタガード型の薄膜トランジスタとして は特開昭62-81065に記載されたものがあ る。この構造では、第2図に示すように、半導体 層9が積層される前にオーミック接触層15が形 成され、さらに半導体層9とゲート絶縁膜10は 連続成膜されず、半導体層9形成後に半導体層9 を島状にパターニングする必要があった。

[発明が解決しようとする課題]

しかし、かかる従来のスタガード型の薄膜トラ ンジスタの製造方法によれば、リンなどの不純物 を含むオーミック接触層15形成後に半導体層9 が形成されるために、オーミック接触層15中の 不純物が後の製造工程中に半導体層9中へ拡散

し、オーミック接触層15の抵抗値が大きくなり 薄膜トランジスタの特性を劣化させる問題を有し ていた。また、半導体層9形成後に、半導体層9 を第2図に示すように島状に残すために、ホトリ ソグラフィー法による加工を必要とし、その工程 中での半導体層9の変質や汚染が起き、薄膜トラ ンジスタのチャネル部分となる半導体層9の劣化 を生み、トランジスタ特性を悪化させる原因とも なっていた。さらに、半導体層9は、絶縁性基体 上に成膜されているために結晶性が悪く抵抗の高 いものであった。このため、この半導体層9をチ ャネル部分とする薄膜トランジスタの電界効果移 動度の値は小さく良好なトランジスタの特性を得 ることができないという問題点を有していた。 そこで、本発明は従来のこのような問題点を解決 するため、薄膜トランジスタを構成する各種の膜 の製造工程中での劣化や変質を防ぐと同時に、高 特性の薄膜トランジスタを実現できる薄膜トラン ジスタの製造方法を提供することを目的としてい る。

リコン膜2は、シリコンを含有するガスをPCV D法、常圧CVD法及び減圧CVD法あるいはE CRCVD法、EB蒸着法などいずれの成膜法に よって成膜してもよく、反応ガス中に不純物添加 用のガスを加えることなく積層する。次に第2工 程で第1図(b)に示すようにシリコン層2を鳥 状に残す。この島状に残ったシリコン層2が、後 の工程により薄膜トランジスタのソース電極とド レイン電極を構成する構成部分となる。第3工程 では、第1図(c)に示すように非晶質シリコン 層2と絶縁膜4を連続成膜する。絶縁膜として は、二酸化シリコン膜、窒化シリコン膜、窒素を 含有する酸化シリコン膜のいずれでもよい。第4 工程では、第1図(d)に示すように、第1図 (c)で積層した絶縁膜4の表面に凹部を形成 し、絶縁膜4厚膜部分と薄膜部分を形成する。第 5工程で第1図(e)に示すようにレーザ照射を 行ない、第1図(d)に示した非晶質シリコン層 3 を多結晶シリコン5 に変換する。第1図 (e) の工程では、絶縁膜4の厚膜部分よりもより薄い [課題を解決するための手段]

上記課題を解決するため、本発明の薄膜トランクガスタの製造方法は、絶縁性基体状におけるスクガード型薄膜トランジスタの製造方法においるで、 が記絶線性高体上にシリコン層を積層する記程と、前記シリコン層を積度と、前記を翻撃を開発を発展を開発を発展を表面に担いままり、非晶質シリカを発展を形式で変換を形式で変換を形式で変換を表面に関する工程というに変換を表面に抵抗シリカを接触を表面に関する工程との厚度を積度である工程とを持続の原理気には抵抗シリカを接触を表面には抵抗シリカを接触を表面には抵抗シリカを接触を含むにある。

[実施例]

以下に本発明の実施例を図面にもとずいて説明 する。第1図(a)において、第1工程として絶 緑性基体1上にシリコン層2を積層する。このシ

薄膜の絶様膜4に被膜された部分の方が優先的に レーザ照射で受けた熱エネルギーを放熱しやす く、絶縁膜4の凹部分の薄膜部分直下にあるシリ コン膿の方がより早く大粒径の多結晶シリコン層 4に変換されやすいという傾向をもっている。次 に第6工程の第1図(ま)では、薄膜トランジス タのゲート電極となる低抵抗シリコン層6を形成 する。この低抵抗シリコン層6は、リンやホウ素 などの半導体不純物の添加用ガスと主ガズとなる シリコン含有ガスを反応中に混合して減圧CVD 法などにより成膜する。第7工程では、第1図 (g) に示すように絶縁膜4の薄膜部分以外を取 り除く。この残った薄膜部分の絶縁膜4が薄膜ト ランジスタのゲート絶縁膜となる。このように絶 緑膜4は第1図(e)においてはレーザ照射時の 熱エネルギーの保持膜の役割りを有し、第1図 (c)後の絶縁膜4形成後は、半導体層となる非 晶質シリコン層3及び多結晶シリコン層5の保護 膜としての働きも有し、さらに、完成後は薄膜ト ランジスタのゲート絶縁膜にもなるという3種類 の機能をもっている。

[発明の効果]

本発明の薄膜トランジスタの製造方法は、以上説明したように、ゲート絶縁膜をレーザ照射時の熱の保持膜として利用すると共に、工程中は、半導体層の保護膜として利用することにより、工程

9・・・半導体層

10・・・ゲート絶縁膜

11・・・ゲート電極

12...透明基板

13・・・ドレイン電極

14・・・ソース電極

15・・・オーミック接触層

以上

出願人 セイコーエブソン株式会社 代理人 弁理士 上 柳 雅 誉(他1名) 中に起きる半導体層の劣化や汚染を防ぐと同時に レーザ光の熱を利用して半導体層の大粒径化を可 能にし、高性能な薄膜トランジスクを実現する効 果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)~(i)は、本発明の薄膜トランジスタの製造方法の実施例の一例を示す縦断面図。

第2図は、従来のスタガード型の薄膜トランジ スタの縦断面図。

1 · · · 絶線性基体

2・・・シリコン層

3 ・・・非晶質シリコン層

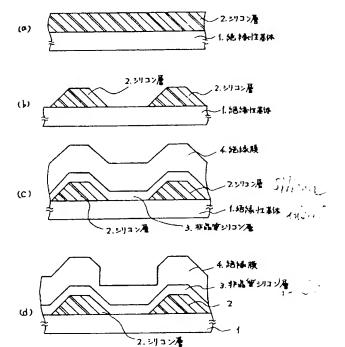
4 · · · 絶線膜

5・・・多結晶シリコン層

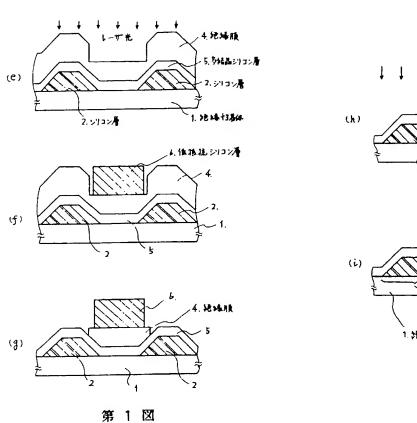
6・・・低抵抗シリコン層

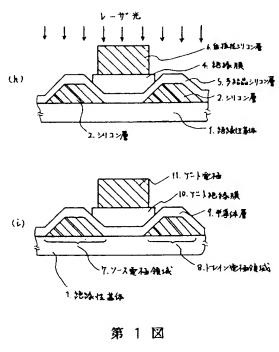
7・・・ソース電極領域

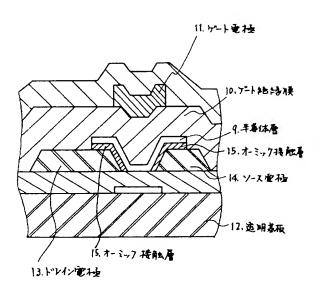
8・・・ドレイン電極領域



第 1 図







第 2 図

HPS Trailer Page for

EAST

UserID: HLee4_Job_1_of_1

Printer: cp4_3c03_gbfhptr

Summary

13 1 1 1 1

Document	Pages	Printed	Missed	Copies
JP402033935A	4	4	0	1
Total (1)	4	4	0	-